

アップ 平成26年度 介護保険の利用状況

介護保険制度は、社会全体で高齢者の介護を支える仕組みです。平成26年度は「第5期介護保険事業計画」の最終年度でした。今月はその介護保険の利用状況などをお知らせします。

■増え続けている要介護認定者と保険給付額

27年3月末現在の要介護(要支援)認定者数は5,722人で昨年度から344人増えています。また、保険給付費の総額は76億1,800万円で、昨年度に比べ3億3,800万円の増となっています。介護サービス別では(表1)のとおりです。

保険給付費の財源は、下のグラフをご覧ください。

■要介護認定率は全国平均よりも低い狭山市

表2は、狭山市の人口に占める65歳以上の方の割合(高齢化率)と、そのうち要介護・要支援の認定を受けている方の割合(要介護認定率)です。高齢化率は全国平均を1%上回っている一方で、要介護認定率は5%下回っていることから、狭山市には健康で自立した生活を送っている高齢者の割合が多いことがうかがえます。



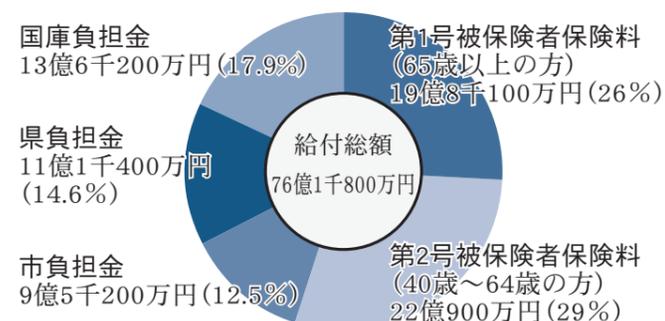
■住み慣れた地域で生活するために

市では、高齢者の皆さんが自立した生活を維持できるよう、65歳以上の方を対象に市内2か所で「元気アップ教室・ちゃきちゃき倶楽部」などの介護予防教室を開催しています。また、市内5か所の地域包括支援センターでも、介護と介護予防に関する相談や支援を行っています。



要介護(要支援)認定者の増加は、保険給付費の増加につながります。いつまでも健やかで安心して暮らすことができるよう、健康づくりや介護予防事業に積極的にご参加ください。気になることは、地域包括支援センターか介護保険課にお気軽にご相談ください。

○介護保険給付費の財源内訳(グラフ)



○介護サービス別の利用状況(表1)

サービス内容	給付費	対前年増減率(%)
①居宅サービス	41億7,434万円	9.6
訪問介護	4億8,629万円	△1.3
訪問入浴介護	4,347万円	0.2
訪問看護	2億515万円	2.0
訪問リハビリテーション	2,528万円	8.4
通所介護	13億1,159万円	9.1
通所リハビリテーション	3億9,738万円	7.1
福祉用具貸与	2億3,405万円	6.0
短期入所生活介護	4億6,252万円	16.3
短期入所療養介護(老健)	3,660万円	0.5
居宅療養管理指導	6,226万円	43.4
特定施設入居者生活介護	4億1,424万円	36.3
特定福祉用具販売	1,157万円	△7.8
居宅介護住宅改修	4,788万円	5.9
居宅介護支援	4億3,606万円	5.4
②地域密着型サービス	4億1,193万円	2.2
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1,665万円	1,435.3
認知症対応型通所介護	5,351万円	7.4
小規模多機能型居宅介護	2,558万円	1.0
認知症対応型共同生活介護	2億2,864万円	△5.6
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	8,755万円	3.7
③施設サービス	25億6,675万円	△1.7
介護老人福祉施設	14億1,062万円	0.9
介護老人保健施設	10億1,976万円	12.4
介護療養型医療施設	1億3,637万円	△55.4
④その他	4億6,476万円	1.4
審査支払手数料	772万円	△17.8
高額介護サービス等費	1億2,419万円	1.3
高額医療合算介護サービス等費	1,981万円	1.1
特定入所者介護サービス等費	3億1,304万円	2.0
保険給付費(①+②+③+④)	76億1,778万円	4.6

○狭山市の高齢化率と要介護認定率(表2)

区分	年度	狭山市	全国平均	埼玉県平均
高齢化率	26年度	27.1%	26.2%	23.7%
	25年度	25.7%	25.7%	22.7%
要介護認定率	26年度	13.2%	18.4%	14.6%
	25年度	13.0%	17.8%	13.9%

問合せ介護保険課へ内線1551

まちの今…これから

●行政評価の第三者評価を実施

平成26年度に市が実施した事務事業の評価結果に対する第三者評価を10月15日(木)に実施しました。

対象となった事務事業は、狭山市行財政改革推進委員会が選定したもので、市が自ら評価した事業の「必要性」・「有効性」・「効率性」・「今後の方向性」などについて、市民の視点から公開の場で改めて検証しました。

今回検証した5つの事業には、市の評価の妥当性だけでなく、今後望まれる改善点などの意見も付されました。

第三者評価の結果は、今後、下半期の事務事業の執行と次年度の予算編成に活用していきます。※詳細は、ホームページでご覧いただけます

問合せ行革推進課へ内線7051

●狭山市初の女性消防団員が誕生



10月3日(土)、狭山消防署で「狭山市女性消防団員入団式」が行われ、13名の女性消防団員が誕生しました。火災予防の広報、応急手当の普及啓発、大規模災害発生時の情報収集支援などでの活躍が期待されています。

なお、女性消防団員は随時募集しています。

問合せ防災課へ内線3697

ONE for All 市長が走る! ③

防災講演会に思う

「想定外」・・・そんな災害が各地で発生しています。地震、津波、台風の巨大化、火山の噴火など、近年の自然災害は異常と思えるものばかりです。9月は茨城県常総市をはじめ、各地で深刻な水害が発生し、狭山市でも入間川や不老川の一部が被害を受けました。実際に常総市のボランティアセンターや堤防の決壊場所を訪れたとき、よぎった言葉。「狭山市でも同様なことが起きうる」。直感的にそう思いました。私たちにできることは、被災地で実際に何が起きたのかという検証と防災体制の改善です。

この水害を受けて、早速職員研修として防災講演会を行いました。講師は阪神淡路大震災にて被災直後からご活躍された、兵庫県西宮市元職員の吉田稔氏。最近の情報通信技術の発達は見覚ましく、防災の分野でもその活用は欠かせません。講師が最後に投げかけた「情報を単に通信するのではなく、情豊通心(心の通った、豊かな情報)を常に発信し続けることで、市民満足度の向上を目指せ!」という言葉には心が揺さぶられました。私も狭山市を「情豊通心」あふれるまちにすべく頑張ります。

この水害を受けて、早速職員研修として防災講演会を行いました。講師は阪神淡路大震災にて被災直後からご活躍された、兵庫県西宮市元職員の吉田稔氏。最近の情報通信技術の発達は見覚ましく、防災の分野でもその活用は欠かせません。講師が最後に投げかけた「情報を単に通信するのではなく、情豊通心(心の通った、豊かな情報)を常に発信し続けることで、市民満足度の向上を目指せ!」という言葉には心が揺さぶられました。私も狭山市を「情豊通心」あふれるまちにすべく頑張ります。



最善を望み最悪に備えます

市長の主な動き

- 10/1・2・5...企業訪問
- 10/2...協働推進委員会
- 10/3...女性消防団員入団式
- 10/4・12...各地区体育祭
- 10/8~9...全国都市問題会議
- 10/14...自治会連合会幹事との懇談会
- 10/15...行財政改革推進委員会
- 10/16...大韓民国統営市親善訪問団表敬訪問、入間基地への要望活動
- 10/25...商工祭・交通安全フェア、狭山市消防団60周年記念式典
- 10/27...都市計画審議会
- 10/31...市民文化祭

●市議会議員一般選挙にかかる当選人の更正決定選挙会を開催

平成27年4月26日執行の狭山市議会議員一般選挙における選挙争訟について、須藤あずさ氏の当選無効が確定したことに伴い、当選人の更正決定のための狭山市選挙会を10月28日(水)に開催しました。



千葉よしあき (60歳・①) 得票数1,317票

その結果、千葉よしあき氏の当選が決定しました。

※敬称略、()は年齢と当選回数

問合せ選挙管理委員会事務局へ内線6061

●へら鮎釣場「前山の池」がオープン

智光山公園内の「旧狭山へら鮎センター」が、市営のへら鮎釣場「智光山公園 前山の池」としてリニューアルオープンします。

11月15日(日)~23日(祝)は、オープン記念として、各日先着50名に粗品を進呈します。

営業開始日時 11月15日(日)、6時30分

営業日 12月31日~1月3日を除く毎日(平成28年4月以降は、毎週月曜日を定休)

営業時間 10月~3月は6時30分~15時30分、4月~9月は6時~16時

料金 大人1日1,800円、高校生以下1日800円

※未就学児は無料。魚の持ち帰りは不可。釣り竿の貸し出しはありません

問合せみどり公園課へ内線2241